

第4分科会 「知性・創造性」 運営概要

【研究課題】「知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」

【研究の視点】 (1) しなやかな知性と豊かな創造性の育成

(2) しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善

I 分科会研究討議の運営計画

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校は、子どもたちに「生きる力」を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識や技能の習得、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けての教育課程を編成していくことが求められている。さらに、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善を進め、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」にしていくことも求められている。

こうした状況の中で学校においては、地域と連携・協働して、子どもたちが社会の変化に主体的に関わり、課題解決を図るしなやかな知性と豊かな創造性を発揮できるようにしていく必要がある。

そこで、校長は、教育課程を編成し、その成果と課題の把握に努め、その結果をもとに、教育課程の改善を図り、21世紀を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成する創意ある教育の推進に向けて積極的に取り組むことが重要である。そのためには、教育課程のPDCAサイクルの確立や地域などの外部資源の効果的な活用等、社会に開かれた創意ある教育課程にしていくためのカリキュラム・マネジメントが求められる。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善についての具体的方策と成果を明らかにする。

視点 1 しなやかな知性と豊かな創造性の育成

- ・ しなやかな知性と豊かな創造性を育む学習指導と評価の在り方を明らかにしていくための校長の果たすべき役割について

視点 2 しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・ 育てるべき資質・能力の共通理解と学習指導の工夫や教材開発への取組について
- ・ 教育課程を編成・実施・評価・改善していくための校長の果たすべき役割について

II これまでの成果と課題（平成30年度 全連小北海道大会から）

【成果】

- ・ ビジョンの共有と目標のベクトルを一致させる校長の働きかけ
- ・ 組織の共感と納得、必要感を生み出すビジョンの提示
- ・ ミドルリーダーを中心とした組織的・協働的な学校経営の実現
- ・ 教職員の意識改革による授業や学びの質的転換に結びついた授業改善の推進

【課題】

- ・ 構想力・決断力、実行力をもってよりよいPDCAサイクルが回るようなカリキュラム・マネジメントの積み重ね
- ・ 学校経営全般について、地域や保護者と共通理解し、協働できるように校長自身がつながりをもつ
- ・ サーバントリーダーシップとトップダウンの両方を兼ね備えたリーダーシップの実現

Ⅲ 研究発表の概要

【視点1・2】「学ぶ力」を育む校長の関わり

◇研究発表者 札幌市立緑丘小学校 村元 秀之 札幌市立平岸西小学校 山本 秀夫
札幌市立北陽小学校 松田 諭知 札幌市立北野平小学校 山下 尊子

◇発表の概要

第4分科会が研究課題としている「知性・創造性を育む」を、札幌市学校教育の重点において掲げている、「学ぶ力～自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」を育むことと捉え、そのために、校長はどう関わるべきか、また自らの関わりをどう振り返り評価しながら進めて行くべきかを18名の校長の実践研究を基に提言する。

校長の関わり之源となるものを「意図と志→意志」と表現し、その「意志」どのように決め、どう伝えていくことが「学ぶ力」の育成につながるのかを明らかにし、その関わりを3つの観点をもとに検証改善しながら、校長自身の関わりをP D C Aサイクルの確立をねらった研究である。

Ⅳ 討議の流れ 13:00～16:30

1. 開会・日程確認 (10分)	13:00～13:10
2. 趣旨説明 (10分)	13:10～13:20
3. 研究発表 (30分)	13:20～13:50
4. 全体討議 (15分)	13:50～14:05
5. 休憩 (10分)	14:05～14:15
6. グループ討議 討議の柱1・2 (80分)	14:15～15:35
7. グループ発表・全体討議 (40分)	15:35～16:15
8. まとめと今後の課題 (10分)	16:15～16:25
9. 閉会・連絡 (5分)	16:25～16:30

Ⅴ 討議の柱

【柱1】「知性・創造性を育むための授業改善に向けた校長の関わり」

ポイント：主体的・対話的で深い学びに向かう授業の構築、授業改善のための職員の意識改革、学校経営ビジョンの浸透 等

【柱2】「知性・創造性を育むための教育課程の編成・実施・評価・改善に向けた校長の関わり」

ポイント：教科等横断的な視点からの教育課程の編成、P D C Aサイクルの確立のための組織や人材活用的・物的資源の活用、学校経営ビジョンの浸透 等

Ⅵ お願い

- ◇グループ内で名刺交換を行いますので10枚程度お持ちください。
- ◇各地区・各校の現状や取組についてグループで交流します。グループ内での司会・記録をお願いする場合がございます。その際は、どうぞよろしく願いいたします。
- ◇各地区・自校での本分科会のテーマ（授業改善、教育課程の編成・実施・評価・改善、学校経営ビジョンなど）についての資料がございましたら、10部程度お持ちよりください。（グループ内で活用）
- ◇服装は、クールビズを基本といたします。